

ぼうさい みくまじろ



No.6

H28. 9. 8 発行

みくまの支援学校
育友会 防災研修部

全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会

全国研究協議大会 東北大会 (秋田大会)

8月20日(土)～21(日)、秋田市で全知P連の全国協議研究大会が行われました。本校からは、教頭が出席しました。1日目の全体会では、「東日本大震災から5年 ～復興へ一歩一歩～」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストからの発表や参加者からの意見や報告が活発に行われました。中でも震災時、宮城県立石巻支援学校に勤務されていた片岡明恵さんは、「命を守る知識をもつこと」「奇跡は偶然ではおきない」といったことを自分の経験をとおして伝えてくれました。また、加えて「危機管理マニュアルに沿って教職員・保護者が一丸となって動ける体制」の大切さについても話してくれました。

今回の資料は、「育友会 防災ライブラリー」(近日運用開始)で見ることができます。



全体会の様子



分科会の様子

ぼうさい みくまじろ 本校ホームページで
ご覧になれます!

本紙『ぼうさい みくまじろ』が本校ホームページ (<http://www.mikumano-sh.wakayama-c.ed.jp/>) で見るできるようになりました。

ホームページは、カラーで見やすいです。インターネットの環境にある方は、一度、ご覧になってください。また、「防災の取組」のページもよろしくお願いいたします。



全知P連ホームページから これだけは準備しておきたい！ 家庭版

全知P連のホームページでは、「これだけは準備しておきたい！」（家庭版）を見ることができます。「自助」「共助」「減災」の3つの項目でまとめられています。参考になると思います。一度みていただければありがたいです。右にその抜粋を掲載しておきます。

(<http://www.zenchipren.jp/>)



■自助として

- ・飲料水 ・非常食 ・携帯充電器 ・ポリ袋
- ・薬・処方箋のコピー ・簡易トイレ 等

■共助として

- ・隣近所とあいさつを交わしている
- ・PTA仲間が5人以上いる
- ・家族の親族・友人情報（可能な範囲）をご近所の方と共有している
- ・いざという時に助けにきてくれる人が近所にいる 等

■減災のために

- ・背の高い家具は、転倒しないようとめている
- ・家の中の安全な場所を知っている
- ・避難所まで一緒に避難する訓練をする 等

全知P連・全国研究協議大会 熊本県参加者から御礼

全知P連・全国協議大会の全体会の中で熊本県からの参加者から「応援メッセージ」等へのお礼がありました。「応援メッセージ」とは、全知P連のホームページで掲載されている掲示板です。和歌山県の保護者の方からもメッセージもあります。(<http://www.zenchipren.jp/>)



移動時間に竿燈演技が行われました。(H28.8.19)

みくまの方丈記 ④ ～生き抜く力・豊かな心～



榎本校長先生による特別寄稿です。

昨年の暮れ、映画「海難 1890」を観に行った。串本町檜野地区の人々がエルトゥール号の乗員を献身的に看護する場面や貧しい生活にあっても精一杯のおもてなしをする場面を見たとき、何か誇らしくそして熱い気持ちになった。この海難事故から95年後の1985年3月17日。イラクのフセイン大統領はイラン領空を「戦争空域」と宣言し、48時間経過以降は民間航空機もすべて撃ち落とすと宣言。各国は争って自国民救出にあたった。残念ながら日本から救援機は飛ばなかった。他国が次々と自国民を救出していく中、イランの在留邦人はさぞかし心細かったことだろう。時間は刻々と過ぎていった。タイムリミットが迫る中、2機のチャーター機がテヘランのメヘラバード空港に着陸する。トルコ航空機だった。残った200余名の日本人全員が歓喜のうちに無事救出された。

みくまの支援学校では「生き抜く力・豊かな心を育てる」を教育目標としている。100年以上前の大島の方々の遺功には、本校教育目標実現のために参考にすべきヒントがある。